



目次

SMBCグループについて

- 4 SMBCグループの沿革
- 6 財務ハイライト
- 7 ESGハイライト
- 10 SMBCグループの価値創造プロセス

ステークホルダーの皆さまへ

- 12 CEOメッセージ
- 20 中期経営計画の基本方針
- 22 CFOメッセージ
- 27 新たなグループブランド戦略について

価値創造のための事業戦略

- 28 グループ体制
- 30 リテール事業部門
- 32 ホールセール事業部門
- 34 国際事業部門
- 36 市場事業部門
- 38 特集：キャッシュレス社会の実現に向けて
- 40 特集：店舗改革
～次世代型店舗への移行～
- 42 特集：ベンチャー・成長産業の
挑戦を支援

編集方針

SMBCグループでは、グループの概要、事業戦略および経営基盤等について、財務情報、非財務情報の両面からステークホルダーの皆さまに簡潔にご説明するため、「SMBC Group Report 2018」を作成しています。編集にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC）が2013年12月に発表した「国際統合報告フレームワーク」等を参照しています。

なお、詳細なデータ等に関しては、「SMBC Group Report 2018 資料編」をご覧ください。また、CSRへの取組については、ホームページでくわしくご説明しています。

報告対象

期間：2017年度（2017年4月～2018年3月）
一部に2018年4月以降の情報も含まれます。

範囲：三井住友フィナンシャルグループおよび
その子会社・関連会社

発行時期

2018年7月



価値創造を支える経営基盤

44	コーポレートガバナンス	68	リスク管理への取組
52	社外取締役インタビュー	72	コンプライアンス体制
54	三井住友フィナンシャルグループの 取締役	74	人事戦略
58	持続可能な社会の発展に向けて	78	ステークホルダーとの コミュニケーション
64	お客さま本位	80	業績と財務状況
67	内部監査		

本資料（ディスクロージャー誌本編および資料編）は、銀行法第21条および第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー資料（業務および財産の状況に関する説明資料）です。本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」「予測」「期待」「意図」「計画」「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式にかかるリスク、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収および経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク等です。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。

お問い合わせ先

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ
広報部
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-1-2
TEL (03) 3282-8111